

様式 2

全学共通教育についての自己点検・評価報告書（教育部会用）

教育部会名：人間と社会

部会長名：廳 茂

作成者名：廳 茂

概要（2000 字）

教養原論を担うパートとしての「人間と社会」教育部会は、専門的能力の基礎となり得る豊かな教養、ならびにグローバル化しつつある現代に生きる人間として必要な倫理性、創造性、国際性、異文化理解力などの涵養をカリキュラムポリシーとして掲げることで、現代社会とその様態について、専門学科としての社会学、文化人類学、人文地理学、教育学、カルチュラルスタディなどを背景として、様々の講義科目を提供している。

科目の具体的編成は、社会集団、文化、教育、環境、技術、スポーツなど今日における〈人間と社会〉を語るに必須の重要なトピック群から構成されている。これらは、抽象的な思想や理論から経験的事例論にまでわたるよう工夫されている。社会科学的世界のうち、政治、経済、法をのぞく多様な社会的諸現象とそれについての知見の教養的基礎をほぼカバーし得ている。

シラバスは、思想的、理論的科目の場合は、講義の性質上おのずと限界があるが、講義内容について概ねこまかく予告、解説しており、実際の講義も学生の理解力が毎年必ずしも同じでなく、また、質問にさく時間配分などの問題もあるので、完全にということとはあり得ないが、ほぼシラバス通りに展開されている。

授業方法は、授業内容の性格に応じて、映像やグラフ、ビデオ、さらに実験や小集団教育などを使用したものから、すべて講述からなるものまで多様である。授業レジュメと資料は、十分に用意されている。

映像などを使った現代の学生に一番人気がある講義から、逆にもっとも苦手とされている純然たる思想史的なものもあるので、学生の授業評価にばらつきがあるのは不可避であるが、3点台中盤から4点台中盤を確保しており、妥当な水準であると判断される。この学生評価の度合いには、授業の内容や方法のみならず、学生数や教育環境などもかかわっている。200人に近い授業もあり、学生の授業内容の理解については限界がある。試験での結果を見るかぎり、学生の講義内容の理解は、水準に達している。日常的に講義にのぞみ、よく準備しているということではないように思われるが、試験にそなえての直前の勉強はそれなりになされていると判断される。

項目・観点ごとの記述

基準5 教育内容及び方法

5-1 【教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）が明確に定められ、それに基づいて教育課程が体系的に編成されており、その内容、水準が授与される学位名において適切であること。】

5-1-③： 教育課程の編成又は授業科目の内容において、学生の多様なニーズ、学術の発展動向、社会からの要請等に配慮しているか。
（観点に係る状況）配慮されている。

根拠資料

シラバス、授業中の配布資料

5-2 【教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。】

5-2-①： 教育の目的に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態の組合せ・バランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導法が採用されているか。
（観点に係る状況）採用されている。

根拠資料

シラバス

5-2-②： 単位の実質化への配慮がなされているか。
（観点に係る状況）概ねなされているが、授業のテーマや規模などに応じてなお問題はのこっている。

根拠資料

シラバス、実験、答案

5-2-③： 適切なシラバスが作成され、活用されているか。
（観点に係る状況）作成され、活用されている。

根拠資料

シラバス

5-2-④： 基礎学力不足の学生への配慮等が行われているか。

(観点に係る状況) 総じて学生の基礎学力は必ずしも不足しているわけではないが、一部そうした学生もあり、配慮はなされている。

根拠資料

授業レジュメ、資料プリント

5-3 【学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）が明確に定められ、それに照らして、成績評価や単位認定、卒業認定が適切に実施され、有効なものになっていること。】

5-3-②： 成績評価基準が策定され、学生に周知されており、その基準に従って、成績評価、単位認定が適切に実施されているか。

(観点に係る状況) 実施されている。

根拠資料

シラバス、配布資料、答案

5-3-③： 成績評価等の客観性、厳格性を担保するための措置が講じられているか。

(観点に係る状況) 講じられている。

根拠資料

答案

基準6 学習成果

6-1 【教育の目的や養成しようとする人材像に照らして、学生が身に付けるべき知識・技能・態度等について、学習成果が上がっていること。】

6-1-②： 学習の達成度や満足度に関する学生からの意見聴取の結果等から判断して、学習成果が上がっているか。

(観点に係る状況) 幾分かは上がっている。

根拠資料

答案、学生アンケート、担当者自己評価

基準7 施設・設備及び学生支援

7-1 【教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備等が整備され、有効に活用されていること。】

7-1-④： 自主的学習環境が十分に整備され、効果的に利用されているか。
(観点に係る状況) 概ね整備され、利用されている。

根拠資料
答案

7-2 【学生への履修指導が適切に行われていること。また、学習、課外活動、生活や就職、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が適切に行われていること。】

7-2-①： 授業科目、専門、専攻の選択の際のガイダンスが適切に実施されているか。
(観点に係る状況) 実施されている。

根拠資料
シラバス、第1回目の授業の配布資料

7-2-②： 学習支援に関する学生のニーズが適切に把握されており、学習相談、助言、支援が適切に行われているか。
また、特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への学習支援を適切に行うことのできる状況にあり、必要に応じて学習支援が行われているか。
(観点に係る状況) 工夫はなされているが、授業規模や教室環境のために、なおも不十分な面がある。

根拠資料
学生アンケート